

# 建築専門誌の掲載事例

- ・日経ホームビルダー2011年7月号  
「液状化対策工法の例」でHySPEED施工物件が紹介されました。



# 日経ホームビルダー2011年7月号の記事内容

## 液状化対策工法の例 水の逃げ道を確保する

液状化する条件を取り除き、不同沈下を防ぐ地盤改良に期待が集まる。その一として、地下水を逃がす戸建て住宅用の一般的な工法を紹介する。

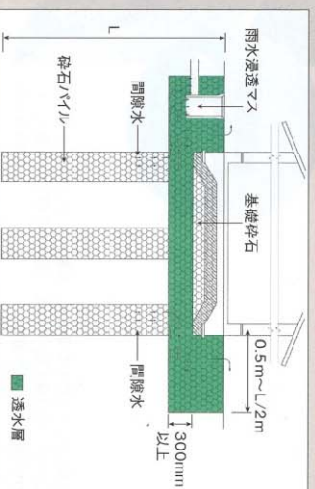
ハイスピードコーポレーション（愛媛県松山市）が開発したハイスピード工法は、「砕石パイル」と呼ぶコンクリート用の砕石を用いた改良体が特徴だ。「砕石は隙間に水が通りやすいため、土中の水圧上昇を抑えられる。これによって液状化の影響を抑制できると同社は説明する。

地盤を削孔し、採石を締め固めながら孔に詰めていく。地盤そのものの支持力を上げる効果がある。一般的な不同沈下対策の場合はこの場合、基礎の下と建物の周囲に厚さ30㎝以上の採石からなる透

水層を敷き、砕石から上がるとき

た水を抜く雨水浸透管などを埋

### ハイスピード工法



ハイスピード工法を採択していた茨城県押入れ市の住宅。液状化対策用の透水層は設置してはいたが、周囲の住宅に比べると不同沈下は少なかった。同工法は2007年に開発。液状化対策を採用した住宅はまだ少ない(写真:ハイスピードコーポレーション)



地盤災害から家を守れ